

2021年3月19日

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

顔認証SaaSプラットフォームに 入退、チケット連携の機能を追加 顔認証SaaSプラットフォームの名称を“KPASクラウド”に変更

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：片倉達夫）は、2020年11月に提供開始した顔認証SaaSプラットフォーム^{注1}に入退、チケット連携の機能を追加し、本日より提供開始します。入退、チケット連携の機能は、2020年11月4日に提供を開始した点呼・勤怠アプリケーションの機能を拡充したものです。

また、顔認証SaaSプラットフォームの名称を、“KPASクラウド”に変更致します。KPAS^{注2}は、当社の世界最高水準^{注3}の顔認証技術で本人認証を行う入退セキュリティシステムとして幅広い業界でご利用いただいています。KPASで親しまれている顔認証の品質と安心を、より多くのパートナー企業、お客様に安心してお使いいただけるように、新たにKPASクラウドとしてSaaSプラットフォームを提供し、さらなる顔認証アプリケーションの機能拡充に努めてまいります。

新型コロナウイルスの拡大を受け、非接触対応のニーズは増加しています。コンサート会場やスポーツ施設などの大型施設で開催されるイベントでは、入場ゲートでの対応において、従来の有人による対応ではなく非接触でのチケット確認や受付業務の省人化等、人との接触を極力低減した対応が求められています。

また、ライブ・コンサートなどのイベントでは、チケットの不正転売やなりすまし入場で犯罪につながるリスクも発生しており、犯罪抑制の観点で顔認証による本人確認の必要性が高まっています。

これらの課題に対応するため、当社は、KPASクラウドの機能拡充をおこない、顔認証システムと既存の入退管理システムやチケット予約システムとの連携を可能にする入退、チケット連携機能の提供を開始します。

【入退、チケット連携機能の特長】

(1) 入退管理システムとの連携

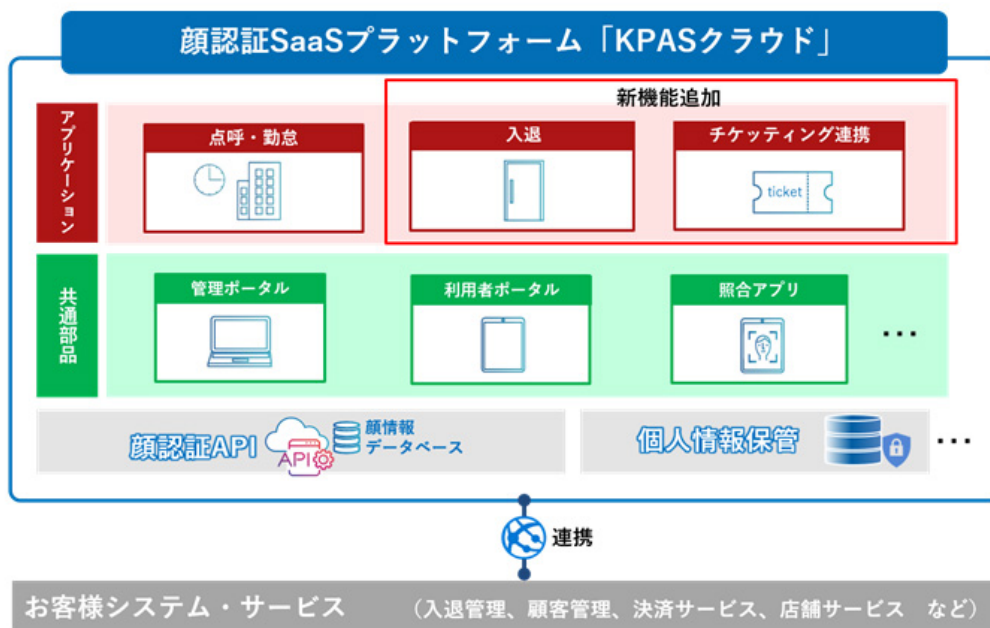
今回追加した入退機能は、入退管理システムとの連携が可能です。これにより、自社製品に顔認証機能を追加したい企業は、専用のアプリケーションを開発する必要がなくなるとともに、システム連携により電気錠やゲートなどの解錠制御を顔認証で行うことが可能となります。接触機会の低減と共に高度な本人確認プロセスを入退管理に組み込むことができるようになり、導入企業の課題解決に貢献します。

(2) チケット予約システムとの連携

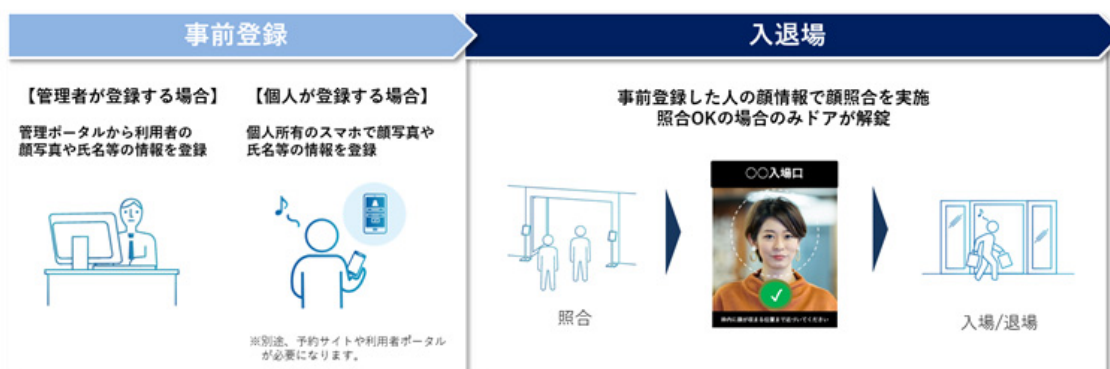
チケット連携機能は、顔認証システムとチケット（座席）予約システムとの連携が可能です。これにより、チケットの本人確認システムを提供する企業は、自社で専用のアプリケーションを開発する必要がなくなると同時に、本人確認を顔認証で行う事ができるようになり、厳正な本人確認の仕組みで昨今の課題に対応できるようになります。

KPASクラウドの機能拡充を通じて、より多くのパートナー企業やお客様に導入しやすい価格体系で高品質、かつ使い勝手のよい顔認証サービスを提供し、昨今のニーズにこたえてまいります。

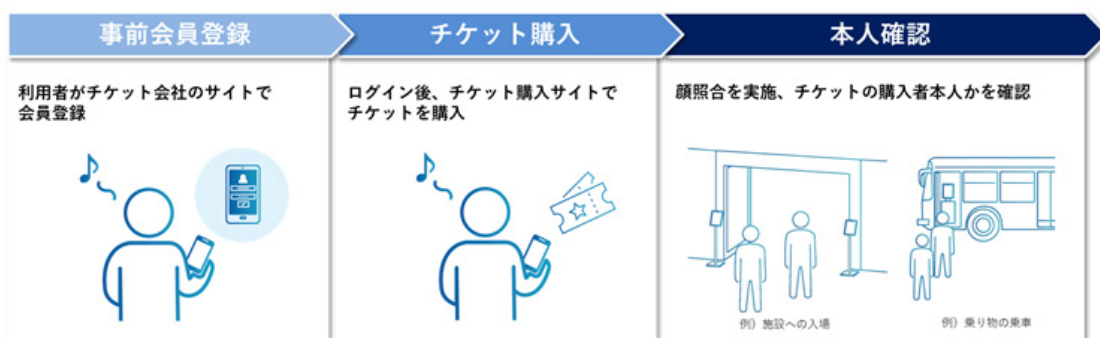
<KPASクラウド 概念図>



<入退機能 運用イメージ>



<チケット連携機能 運用イメージ>



■入退、チケットング連携機能の強み

1. ニューノーマル時代に対応した世界最高水準^{注3}の顔認証サービスをクラウドサービスで提供
2. 他社入退場システム・チケット予約システムとの連携が容易
3. 様々なカメラ付きデバイスでの利用が可能
(※ 照合用デバイスアプリはAndroid、iOS対応。Windowsはカスタム対応となります。)

<入退、チケットング連携機能 利用料>

- ・入退機能を利用する場合
月額サービス料(税別)=登録人数と照合回数に応じた価格テーブルをご用意
(例)登録人数100人の場合:20,000円/月～
※詳細はお問い合わせください。
- ・チケットング連携機能を利用する場合
チケットング連携機能を組みこんだ上で、各チケット販売会社様のサービスとしての価格設定がされます。

<KPASクラウドの利用開始方法>

お問い合わせ／お申込み
弊社担当営業までご連絡、またはKPASクラウドのWEBサイトにてお問合せいただきお申込みください。

▼KPASクラウド Webサイト:

https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_facial-recognition-cloud-service_kpascloud

お問い合わせ先アドレス:mu_sockets_contact@ml.jp.panasonic.com

注1) パナソニックは、2020年11月4日、「アプリケーション提供プラットフォームの構築」を拡充し、様々な開発ニーズに応えるため、顔認証APIエンタープライズエディションと、SaaSプラットフォームの提供を開始しました。SaaSプラットフォームでは、まず需要の多い「点呼・勤怠」向けアプリケーションから提供を開始しています。

注2) KPASは、「顔」で本人認証を行う入退セキュリティシステムとして、2019年より提供開始しています。家電で培った使いやすさへのこだわりやノウハウと、お客様との実証実験を重ねて徹底的に追求した「現場」に最適な機能やデザインで、幅広い業界に導入いただいております。

▼顔認証 入退セキュリティ&オフィス可視化システム KPAS Webサイト:

https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_kpas

注3) 2017年4月28日に公開されたNIST公式の評価レポート(IJB-A Face Verification Challenge Performance Report, IJB-A Face Identification Challenge Performance Report)において世界最高水準の評価を得ており、引き続きNIST「FRVT 1:1」(2020年9月18日発行)の「Ongoing Face Recognition Vendor Test」においても、世界最高水準の評価結果を獲得しました。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。